

学会発表 - 2013 年

1. KUNII, Y; HYDE, Thomas M; YE, Tlanzhang; LI, Chao; TAO, Ran; McFADDEN, Whitney; WEINBERGER, Daniel R; KLEINMAN, Joel E; LIPSKA Barbara K. Expression levels of CHRNA7 and CHRFA7A are altered in postmortem dorsolateral prefrontal cortex in major psychiatric disorder. Neuroscience 2013 第 43 回米国神経科学会議; 2013 11 10-11; San Diego, CA, USA.
2. MATSUMOTO, J; KUNII, Y; HAYASAKA, T; HINO, M; WADA, A; AKATSU, H; HASHIZUME, Y; YAMAMOTO, Y; SATO, S; YABE, H; SETO, M; NIWA, S. Abnormal phospholipids distribution in the postmortem brain from patients with schizophrenia revealed by matrix-assisted laser desorption/ionization imaging mass spectrometry: usefulness of antemortem psychiatric clinical information in postmortem brain study. Neuroscience 2013 第 43 回米国神経科学会議; 2013 11 10-11; San Diego, CA, USA.
3. KUNII, Y; MIURA, I; MATSUMOTO, J; HINO, M; WADA, A; YABE, H; KAKITA, A; TAKAHASHI, H; SAKAI, M; SOMEYA, T; NAWA, H; NIWA, S. Effects of the Taq1A Polymorphism in the Dopamine D2 Receptor Gene on the DARPP-32 Expression of Postmortem Striatum. 11th World Congress of Biological Psychiatry, 2013 (WFSBP Congress 2013); 2013 06 23-27; Kyoto.
4. MATSUMOTO, J; KUNII, Y; MIURA, I; HINO, M; WADA, A; YABE, H; SETO, M; NIWA, S. Usefulness of antemortem psychiatric clinical information in postmortem brain study. 11th World Congress of Biological Psychiatry, 2013 (WFSBP Congress 2013); 2013 06 23-27; Kyoto.
5. ODAWARA, M; HASHIZUME, M; MOTOYA, R; AMANO, Y; TSUBOI, K. The Influence of the Pain Catastrophizing and Quality of Life with the Primary Headache. 22nd World Congress on Psychosomatic Medicine; 2013 09 14; Lisbon, Portugal.
6. 佐久間寛之, 松下幸生, 木村 充, 藤田さかえ, 瀧村 剛, 尾崎米厚, 樋口 進. 被災地におけるアルコール関連問題・嗜癖行動の実態調査. 平成 25 年度アルコール・薬物依存関連学会合同総会; 2013 10 04; 岡山.
7. 星野 大, 樋代真一, 大島祥恵, 丹羽真一. 統合失調症用の社会認知の包括的評価バッテリーの開発. 第 13 回精神疾患と認知機能研究会; 2013 11 02; 東京.
8. 佐久間寛之. 分科会⑥「患者・家族への治療モデルをめぐって」③GT-MACK. 平成 25 年度第 35 回日本アルコール関連問題学会 岐阜大会; 2013 07 20; 岐阜.

学会発表 - 2013 年

9. 小林 元, 諸井陽子, 本谷 亮, 菅原亜紀子, 八木沼洋行, 石川和信. 定員増は医学部低学年生の学生生活に変化をもたらしているのか? 第 45 回日本医学教育学会; 2013 07 26; 千葉.
10. 菅原亜紀子, 本谷 亮, 熊谷智広, 大島謙吾, 諸井陽子, 八木沼洋行, 福島哲仁, 石川和信.『悪い知らせ』を伝える医療面接 SP 演習での医学生のコミュニケーション特性. 第 45 回日本医学教育学会; 2013 07 26; 千葉.
11. 増山由紀子, 川井 巧, 本谷 亮, 大谷晃司, 葛西龍樹. 初期臨床研修医の自己効力感, 研修到達度, 仕事・研修満足度, および気分の状態との関連. 第 45 回日本医学教育学会; 2013 07 26; 千葉.
12. 本谷 亮, 小林 元, 菅原亜紀子, 諸井陽子, 松田 希, 大島謙吾, 渡辺洋平, 野本美香, 勝嶋史子, 佐久間光太郎, 西條 聡, 安井清孝, 八木沼洋行, 福島哲仁, 石川和信. 医学教育への協力を通じて模擬患者が感じていることと彼らにもたらされたこと. 第 45 回日本医学教育学会; 2013 07 26; 千葉.
13. 諸井陽子, 小林 元, 菅原亜紀子, 本谷 亮, 八木沼洋行, 福島哲仁, 石川和信. 医学部定員増から5年目の教員への現状調査. 第 45 回日本医学教育学会; 2013 07 26; 千葉.
14. 星野 大, 樋代真一, 大島祥恵, 丹羽真一. 統合失調症用の社会認知の包括的評価バッテリーの開発. 第 5 回日本こころとからだの救急学会; 2013 11 30; 東京.
15. 星野仁彦. 成人になって合併症を示して来院した注意欠陥・多動性障害(ADHD)者への治療的アプローチの試み(第8報)ーアトモキセチンとメチルフェニデートの比較検討ー. 日本児童青年精神医学会; 2013 10 11; 札幌.
16. 菅原亜紀子, 小林 元, 熊谷智広, 大島謙吾, 本谷 亮, 勝見明彦, 野本美香, 勝嶋史子, 佐久間光太郎, 小島 彰, 福島哲仁, 石川和信. クリニカル・スキルスラボで過ごす One Day 医学部臨床実習プログラム. 第1回日本シミュレーション医療教育学会; 2013 07 06; 新潟.
17. 鈴木雄一. 心因性発熱に漢方薬を用いて改善した1例. 第 31 回日本小児心身医学会学術集会; 2013 09 13-15; 米子.
18. 小田原幸, 本谷 亮, 天野雄一, 端詰勝敬, 坪井康次. 一次性頭痛と痛みに対する破局的思考について. 第 54 回日本心身医学会総会; 2013 06 26; 横浜.

学会発表 - 2013 年

19. 鈴木聡史, 本谷 亮, 松本貴智, 増子博文, 矢部博興. 社交不安障害に対する REBT の適用. 第 17 回日本人生哲学感情心理学学会; 2013 06 22; 会津若松.
20. 本谷 亮, 小野洋子, 大谷晃司, 矢吹省司, 丹羽真一, 紺野慎一. 認知行動療法を基盤とした腰痛教室の効果 - 慢性腰痛患者を対象とした pilot study -. 第 13 回日本認知療法学会; 2013 08 23-24; 東京.
21. 管るみ子, 疋田雅之, 上島雅彦. トピラマート追加により精神症状をきたした 10 例. 第 47 回日本てんかん学会; 2013 10 12; 北九州.
22. 菅原亜紀子, 本谷 亮, 小林 元, 熊谷智広, 諸井陽子, 八木沼洋行, 福島哲仁, 石川和信. 医療面接シナリオ演習で観察された医学生のコミュニケーション特性の性差. 第 5 回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会; 2013 08 09; 岐阜.
23. 板垣俊太郎, 矢部博興, 松岡貴志, 疋田雅之, 志賀哲也, 野崎途也, 大島洋和, 浅野聡子, 刑部有祐, 丹羽真一. 成人期注意欠陥多動障害患者における塩酸メチルフェニデート投薬によるミスマッチ陰性電位(mismatch negativity: MMN)の変化. 第 43 回日本臨床神経生理学会学術大会; 2013 11 08; 高知.
24. 浅野聡子, 國井泰人, 板垣俊太郎, 大口春香, 伊藤典和, 堀越 翔, 増子博文, 矢部博興. 当院のせん妄患者についての検討. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.
25. 刑部有祐, 板垣俊太郎, 樋代真一, 松本純弥, 伊瀬陽子, 浅野聡子, 松村行雄, 増子博文, 矢部博興. 入院を契機に精神病様症状で発症したベンゾジアゼピン離脱の一例. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.
26. 志賀哲也, 二階堂琢也, 國井泰人, 増子博文, 紺野慎一, 丹羽真一, 矢部博興. 慢性疼痛を合併した双極性感情障害に対してバルプロ酸とアリピプラゾールが疼痛コントロールに奏功した1例. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.
27. 堀越 翔, 國井泰人, 伊藤典和, 浅野聡子, 大口春香, 松本純弥, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 増子博文, 矢部博興. リスペリドン特効性注射製剤 (risperidone long acting injection: RLAI) の診療短縮効果の検討. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.

学会発表 - 2013 年

28. 松本純弥, 國井泰人, 志賀哲也, 増子博文, 矢部博興. 低酸素脳症による行動・心理症状にガランタミンが奏功した症例. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.
29. 松本貴智, 矢部博興. 原発事故におけるあいまいな喪失感情に向き合うこと. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.
30. 本谷 亮, 小野洋子, 大谷晃司, 矢吹省司, 丹羽真一, 紺野慎一. 破局的思考の強い慢性腰痛患者に対する腰痛教室プログラムの効果 - 予備的研究 -. 第 67 回東北精神神経学会総会; 2013 10 13; 仙台.
31. 星野 大, 樋代真一, 大島祥恵, 丹羽真一. 統合失調症用の社会認知の包括的評価バッテリーの開発. 第 4 回東北精神保健福祉学会総会; 2013 10 13; 仙台.
32. 堀 有伸, 久村正樹, 和田 明, 三浦 至, 矢部博興, 丹羽真一. 精神科外来・入院調査を通じての福島県における震災ストレスの考察. 第 4 回東北精神保健福祉学会総会; 2013 10 13; 仙台.
33. 浅野聡子, 管るみ子, 國井泰人, 増子博文, 矢部博興. 良性ローランドてんかんの既往があり自殺目的で carbamazepine を過量服薬した 15 歳男児の一例. 第 7 回日本てんかん学会東北地方会; 2013 07 20; 仙台.
34. 金澤潤一郎, 堀内 聡, 安藤孟梓, 土井理美, 高垣耕企, 関口真有, 本谷 亮, 佐藤真澄, 原田 浩, 福澤信之, 坂野雄二, 平野哲夫. 生体腎移植がレシピエントの抑うつ症状の感情面と身体面に与える影響. 第 33 回北海道腎移植談話会; 2013 11 16; 札幌.
35. 本谷 亮. 糖尿病を合併している肥満症患者の減量コントロールに対する心理的介入. 第 24 回福島 DM スタッフ懇話会; 2013 09 14; 福島.
36. 堀 有伸. 震災後に抑うつとトラウマ反応を呈した症例についての考察. 福島災害医療研究会; 2013 11 02; 福島.